

# 令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

## ワークショップ実施計画書

制作団体名	一般社団法人 東京ニューシティ管弦楽団
公演団体名	東京ニューシティ管弦楽団

内容
<p>本楽団から指揮者・ピアニスト・弦楽器1名と、木管楽器or金管楽器or歌手のうち2名、及びスタッフ1名が伺います。レクチャー&amp;ミニコンサートと指導という二つの部分から成り立ちます。</p> <p><b>レクチャーとミニコンサート(45～60分程度)</b></p> <p>レクチャーではコンサートの歴史、拍手やコンサートでの風習、楽器の仕組みや歴史を学びます。会場に十分な設備や装置がある場合は、パソコンによるパワーポイントのスライドや動画、音源などの使用も可能です(使用できない場合でも問題ありません)</p> <p>その間に各楽器がピアノとともに数曲の演奏をいたします。その中で音楽の三要素、リズム、メロディ、和音についての体験レクチャーもします。</p> <p>人数にもよりますが、体験用楽器を用意し、実際に楽器演奏を体験してもらうことも可能です。</p> <p><b>事前共演指導(30～60分程度)</b></p> <p>合唱や、吹奏楽、リコーダー、器楽などの事前共演指導のレッスンをを行います。</p> <p>共演希望が合唱の場合は歌手が必ずお伺いし、歌唱指導では基本的な言葉の発音から、どうやって音楽が生まれてくるかも学びます。中学校の吹奏楽部の細かい技術指導などについては、時間の許す限り行います。</p> <p>以上、この二つの内容は各学校の事情やスペースに合わせて、実施時間を調整いたします。</p> <p>また吹奏楽部や合唱部などの指導では、顧問の先生との連絡を密にして内容を練ってまいります。</p>

タイムスケジュール(標準)			
午前の場合		午後の場合	
学校到着	09:00	学校到着	13:00
ワークショップ	09:30～11:30	ワークショップ	13:30～15:30
退校	11:45	退校	15:45

派遣者数	
指揮者	1名
ピアニスト	1名
弦楽器奏者	1名
木管楽器奏者・金管楽器奏者・歌手のうち	2名(共演希望により対応)
スタッフ	1名
合計	6名

学校における事前指導
発声練習、楽器練習 共演曲の譜読み、練習 質問事項の取りまとめ

# 令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

## 本公演実施計画書

制作団体名	一般社団法人 東京ニューシティ管弦楽団
公演団体名	東京ニューシティ管弦楽団

### 演目

#### <第一部>

ビゼーの歌劇カルメンを題材にして、オーケストラの魅力をさまざまな角度から掘り起こし、オーケストラとオペラの世界の魅力を存分に味わっていただきます。

#### ビゼー：歌劇「カルメン」より前奏曲 (3分半)

#### 「カルメン」を使ってオーケストラ大解剖

(ビゼー作曲：カルメン第一・第二組曲) (30分)

前奏曲(5分) (説明含め) ※曲名は同じですが冒頭の演奏曲とは違う曲です。

木管楽器・金管楽器・打楽器・弦楽器の各セクションがそれぞれ最初の16小節を演奏

- 1 第一組曲：アラゴネーズ(オーボエ) (4分-楽器紹介を含め)
- 2 第一組曲：間奏曲(フルート、クラリネット、ハープ) (6分-楽器紹介を含め)
- 3 第一組曲：アルカラの竜騎兵(ファゴット) (4分-楽器紹介を含め)
- 4 第二組曲：トレアドール(トランペット) (5分-楽器紹介を含め)
- 5 第二組曲：夜想曲(ヴァイオリン・ホルン)-後半のみ(6分-楽器紹介を含め)

#### 指揮者体験コーナー「あなたもマエストロ」

使用曲 ビゼー：歌劇「カルメン」より前奏曲 (10分) 3人の体験

————— 休憩(15分)-体験時間あり —————

休憩時間にはヴァイオリン、クラリネット、トランペットなど複数の楽器が用意され児童・生徒さん達が体験することができます。また遠くにあったハープ、チューバなども舞台前方で模範演奏が行われます。

#### <第二部>

オペラの世界を味わってみよう

## ビゼー: 歌劇「カルメン」より

-日本語またはフランス語歌唱-  
メゾ・ソプラノ独唱によるカルメンの世界(8分)  
ハバネラ(2分半) ロマの唄(5分)  
\*歌唱言語は各校選択

## みんなでオーケストラを体験しよう

(8分-用意の時間も含め)

合唱または吹奏楽でオーケストラと共演。下記候補曲よりお選び下さい。

### 合唱で共演の場合(出演のメゾ・ソプラノ歌手と一緒に)

- (1)ビゼー/「カルメン」より 街の子ども達と衛兵の交代(日本語orフランス語歌唱)
- (2)平吉毅州/「気球に乗ってどこまでも」
- (3)杉本竜一/「ビリーヴ」
- (4)平井夏美/「瑠璃色の地球」
- (5)菅野よう子/「花は咲く」
- (6)村井邦彦/「翼をください」

### 吹奏楽で共演の場合

- (1)スーザ/行進曲「星条旗よ永遠なれ」(吹奏楽の調)
- (2)エルガー/「威風堂々 第一番」
- (3)スーザ/行進曲「雷神」(吹奏楽の調)
- (4)J.シュトラウスI世/ラデツキー行進曲(変ホ長調)  
\*ご希望により吹奏楽譜(曾我大介編曲)を配布いたします
- (5)ホルスト/第一組曲より第三楽章「マーチ」

## 物語のある音楽を聴こう

シベリウス:交響詩「フィンランディア」(10分 説明込み)

### 各校校歌(オリジナルフルオーケストラ編曲)(5分)

(先生や生徒の指揮も大歓迎です)  
自身作曲家でもある、曾我大介が編曲するオリジナルの一曲です。

<アンコール>

### 外山雄三 「管弦楽のためのラプソディ」より(5分)

(全員が簡単なボディーパーカッションで参加)

公演時間 約90分(休憩を含む)

### 派遣者数

指揮者（司会も兼任）	1名
メゾ・ソプラノ歌手	1名
オーケストラ演奏者	58名
スタッフ	4名
合計	64名

### タイムスケジュール（標準）

楽器搬入・舞台設営	08:00~10:30
共演を含めたリハーサル	10:30~12:30
本公演	13:30~15:00
楽器搬出・撤収	15:00~17:00

### 実施校への協力依頼人員

ステージ周辺の整理、椅子出しなどの事前準備が完了していれば、当日は特に必要なし。学校側との連絡係として、ご担当の先生1~2名をお願いいたします。

### 演目解説

#### ビゼー：歌劇「カルメン」より前奏曲

オーケストラのダイナミックなサウンドを楽しんでいただき、自然と体が動き出すような一曲。オーケストラ曲の代名詞に相応しい一曲です。

#### 楽器紹介(カルメン第一・第二組曲を使って)

ビゼーはカルメンで各楽器の個性をその卓越した能力で際立たせました。ここでは一般的な各楽器の音色を聴く楽器紹介だけでなく、作曲家のオーケストラの中でのスポットライトの当て方の解る曲として選択致しました。

#### あなたもマエストロ(カルメン前奏曲)

平易で指揮者の持ち味がわかりやすい一曲です。代表の3名だけでなく、全員で身体を動かして指揮の動きを体験するのにもってこいの一曲でもあります。

#### 歌劇「カルメン」より-オペラの世界を味わってみよう

-日本語またはフランス語歌唱-

実際に実力派オペラ歌手に共演してもらい、華やかなオペラの世界を味わってもらうためにプログラミングしました。歌唱言語はフランス語・日本語から各学校の事情に合わせて選択していただきます。

#### みんなでオーケストラを体験しよう

合唱または吹奏楽でオーケストラと共演していただきます。

オーケストラで共演しやすい曲や、親しみやすい曲を選びましたが、各校の事情に応じて自身作曲家でもある曾我大介が編曲し対応いたします。

## 物語のある音楽を聴こう

シベリウス:交響詩「フィンランディア」

クラシックな管弦楽の代表作で、オーケストラのサウンドが充実し、更に歴史的背景や物語性のある一曲を選びました。

## オリジナルフルオーケストラ編曲:各校校歌

先生や生徒の指揮も大歓迎です。

オーケストラに編曲された校歌は胸を打つサウンドとなり、学校の記念となるでしょう。

## アンコール 外山雄三 「管弦楽のためのラプソディ」より

日本の曲として海外で最も演奏する機会が多い一曲を選びました。

全員に簡単なボディーパーカッションで参加していただきます。

ラプソディには日本を代表するメロディとリズム:八木節が使われています。大いに盛り上がると思います。

### **児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫**

合唱や吹奏楽、器楽でオーケストラと共演していただきます。

提示の曲目は親しみやすい JPOP の曲やオーケストラと共演しやすい曲目などです。

各学校の要望にできる限り沿いながら、諸事情に柔軟に対応したいと思います。

また校歌演奏での各学校の先生や生徒さんの指揮も大歓迎です。

「あなたもマエストロ」では生徒さんの指揮にオーケストラがどのように反応するか、皆さんに体験してもらいます。指揮をするのは3人だけですが、指揮の手ほどきは全員合同で行います。

### **児童生徒とのふれあい**

クラシックのコンサートではありますが、手拍子や簡単なボディーパーカッションなどを随所に取り入れることにより、親しみやすさや一体感を感じていただけるようにいたします。

また、休憩時間には体験用楽器を用意し、各楽器の奏者が指導に当たり、児童・生徒さんに実際の演奏体験をしていただくこともできます。またチューバやハープを、興味を持つ子供たちの間近で体験できる工夫もいたします。



